

平成23年度川崎区区民会議第2回環境部会

日 時：平成23年7月6日（水）18時30分～20時30分
場 所：川崎区役所7階第1会議室

出席者（敬称略）

（1）委員 4人

木島千栄、秦琢二、藤岡玲子、鷺頭多加志

■開会

事務局 <会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

1. 環境意識向上への取組について

（木島部会長）

それでは、環境問題啓発ポスターを加工して町内会の掲示板、区役所、アゼリア地下街広報コーナーに掲載、全作品を区のホームページに掲載することなどが出されました。また、平成21、22年度の参加校ヒアリングで、他に活用した事例はないことがわかりました。

今までの取組について、環境問題啓発ポスターを利用してどんなことが期待できるかというのですが、みなさんと議論していきたいと思います。

ポスターを利用して環境意識の啓発に、どのように取り組んでいきたいと思いますか。

（鷺頭委員）

子どもたちへポスターを描いてもらうのは、教育的観点からだと思います。そこから大人への啓発に繋がれば良いと思います。そういう意味では、お父さん、お母さんへどうつなげていくかだと思います。

（藤岡委員）

何をやってもお金がかかることがネックです。ポストカードにしたのは、色合いがきれいで小学生なりの作品で良かったと思います。年配の方々にもきれいということで評判が良かったと思います。暑中見舞いには、間に合いませんが、ポストカードにして残暑見舞いなどで展開できたら良いと思います。ホームページからダウンロードしてプリンターにはがきを差し込むと印刷されるなど、ホームページをつくるにもお金がかかってしまうので難しいかもしれないが、そのような形で大人にもつながれば良いと思います。

(秦委員)

私も予算無視の話になってしまうが、ポスターは基本、外でしかみられません、家の中でも見られるようにすることも必要だと思います。たとえばカレンダーにするとか、今の時期ならうちわにするとか。盆踊りがある地域の町内会へ配布するとかあると思います。

(金子課長)

何枚かたまったところでカレンダーにできると思う。以前あったかと思うが、今までの作品を活用するという意見があったと思う。あとホームページからダウンロードもそんなにお金がかからずにできると思います。

ポストカードは、今は、3枚お渡ししています。想定は、自分に1枚、御両親に1枚、祖父・祖母に1枚となっているのですが、それを公表しているわけではありません。

それでは、コンサルタントが参考となる事例をまとめているので、説明していただきます。

(コンサルタント)

※参考事例の資料説明

(木島部会長)

宮前区では、以前トンネルに大々的に絵を描いているというのがあったかと思っています。

(コンサルタント)

それは、以前そのトンネルが薄暗く事件があったため、トンネルに地元の中学生で絵を描いたという企画がありました。

(木島部会長)

私の方も調べましたが、2010年7月に横浜市で環境絵日記展というものがあって、平成7年からリサイクルデザインフォーラムを開催しているらしいのですが、その中で開催しているようです。実際に環境の絵を描いて文章を書いているそうです。そこでも優秀作品には賞をあげているようです。

私たちの川崎区としてどうするかということですが、さっきいくつかあげていただいたのも含めて審議していただきたいのですが。

(藤岡委員)

外で目に触れるということでは町内会の掲示板を貼っていただいていると思いますが、見ない人は見ない。また町内会の掲示板は、今後も協力してもらえるとということで、他のところを考えないといけないと思います。たとえばバス停や京浜急行の柱とか、あれも無意識のうちに目に入るかなと思います。掲示板の他に貼れるところを審議しても良いのではないかと思います。

先ほどのうちわというのは使えそうな気がしています。白いうちわは100円ショップで売っているし、それにホームページから印刷して貼ってもらうとか。お金があればうちわをつくってもらって市民祭りなどで配れたらどうかなと思います。

(秦委員)

私も予算無視の話ですが、バスの側面に印刷するというのがあると思います。あとカルタにしてはどうかなと。以前にやってみたが、子どもの親は必ず買います。また学校にも10箱ずつお願いしますと言えば、断らないと思う。あと交通安全協会から新小学生にファイルが配られるが、そこに印刷するなどがあると思います。あと防犯ステッカーというのがありますが、小さくなりすぎて難しいかもしれません。

(鷺頭委員)

警察とか消防とかに協力をお願いすることはできますかね。たとえば消防団だと〇〇消防月間というのがあるって、マグネットに印刷して車の横に貼るのだが、そこにポスターを印刷して貼ってもらうとか。

(木島部会長)

バスの側面印刷は、交通局に相談したらできますか。

(金子課長)

広告料がかかってしまいます。今は、ドラえもののイラストがあるが、スポンサーや国の補助がないとなかなかできない。そういうときにやる。市の予算ではなかなかやりません。また、すぐに剥がしてしまうことになります。

(藤岡委員)

ポスターの掲示場所ですが、リサイクルセンターやごみ処理場とか協力してくれますよね。見学を申し込んだ人にお土産にポストカードを渡すと家庭までいくので、PRになりうると思います。見学にいったら、たいていパンフレットもらえると家に持って帰ると思います。

(金子課長)

地域で何か取り組めないですかね。地域の活動に活用できないかなと思います。役所でつくって配ってもいいのですが、それだとあまり効果がありません。

(木島部会長)

キャッチフレーズも応募してもらうと良いのではないですか。ここにもありますが、何か一言コメントがあると、見る人には心に残ると思います。来年度以降にこういう一言があっても良いと思います。

(事務局)

先ほどコンサルタントから説明があったもので地域の活動として取り組めるものがあれば良いと思います。市民と行政が協働で取り組めるようなものが良いと思います。

(コンサルタント)

ポイントは、一石二鳥の考え方があって、この中原区のきっかけは、まちづくり推進委員会が持っているまちなかのマナーポスターを活用したいというのと武蔵中原駅付近のトンネルが薄暗くてなんとかしたいという地元と行政が、つながった形です。このようにお互いに利益を生むようなつながりがポイントになります。

(金子課長)

そういうようなことについては、行政より区民である委員さんの方が、見聞きしているのではないかと思われませんが。

(秦委員)

15号バイパスの植え込みが汚い状況です。そこで国土交通省から花代をくれるということだったが、誰が管理するのかという問題になりました。国道沿いなので危ないし。

(木島部会長)

例えば伊藤園のペットボトルに環境のコメントが書いてあった時期があったが、そういうように企業とタイアップできるような企画が良いと思います。

(藤岡委員)

中原区みたいに子どもたちのポスターの優秀作品を選ぶというのを地域の団体にお願いするというのはできそうですね。でも、そのあとにどうつなげるかということがわかりませんが。

(金子課長)

先日ポスターの審査をいただいたのだが、カリキュラムの関係でタイトなスケジュールだったので、難しい学校もあった。その辺の状況を把握してやらないと長続きしないと思います。あと、この作品を学校で何かに活用しているか、ということになると活用していないようです。

(秦委員)

毎年桜の時期になると絵を描いてもらうところがある。それをポスターにして2週間展示し、終わったらそれを子どもたちにあげるというイベントがある。毎年、参加人数が増えていて、周辺の小学校でもやりはじめたようです。

(金子課長)

何かに効果がみえると良いのですが。

(秦委員)

そこで効果があったのは、ブルーシートの件です。

(金子課長)

どんなことに効果があるかを見えてくると取り組みやすいのですが。

(木島部会長)

市民を巻き込むには、目に留まらないと難しいと思います。

(金子課長)

今は、参加者全員にポストカードをあげているのだが、これ以上増えてしまったらどうするのかという問題がある。もちろん、多くの子どもたちに描いてもらいたいと思いますが。

(コンサルタント)

中原区の場合、テーマがマナーモラルということもあるが、町内会でたばこのポイ捨てで困っているというところにカラーコピーして提供しています。そういう意味でほしいという地域や企業はあるのではないか。

(木島部会長)

まずはニーズをつかむということですかね。たとえば、町内会がそういうポスターを使いたいか。掲示板には貼っていただいています、それ以上使いたいか。せっかく参加校が増えてきているところで、何か成果がほしいですね。

(コンサルタント)

ニーズを把握するためにも、町内会や企業ごとにほしいポスターのテーマが違おうと思う。ほしいテーマがわかるようにカテゴリーわけしておいたらどうでしょうか。

(事務局)

これは地球環境環境啓発ポスターコンクールということでやっていますが、去年は地球温暖化防止ということで行い、今年、未来へ繋ぐ地球の森林というテーマを設定している。テーマに沿って描いてください、選定してくださいということになっているので、ポイ捨てとかは出にくいと思います。あと実際は、テーマを見ずに出してきた学校がありました。

(金子課長)

地球環境とは、子どもたちにとって大きすぎる部分もあった。そういう意味でポイ捨ても地球環境も含まれると思います。ただ、6年生が対象なのは、5年生で地球環境について勉強したからということです。学校側も描かせるなら何か求めてほしいと思うし、そういう意味で学校側と連携する必要があると思いました。

(事務局)

資料に次回のスケジュールを示されているが、何かそれまでにオーダーとかあれば。

(金子課長)

区民会議には、いろいろな団体の方がいるので、そこから情報収集をできるかと思います。

(秦委員)

今回選ばれた作品をインタラクティブかわさきで紹介することはできませんか。

(木島部会長)

資料3の説明はいかがでしょうか。

(金子課長)

今回はポスターもそうだが、ポスターではない取り組みも審議された方が良いでしょう。それでは、今日出された意見を事務局の方で整理したいと思います。

2. その他

(1) かわさきエコ暮らしフェスタについて

(金子課長)

資料3を見ていただきたいのですが、チラシ作成の都合で何をやるかを早めに決めないといけないのですが、資料3を事務局が説明します。

(事務局)

※資料3説明

(金子課長)

最初は、環境部会だけの参加と思いましたが、区民会議のPRの良い場なので、区民会議全体で参加したいと思っています。ただ、ここの部会が環境に特化した部会なので、何ができるか検討していただきたいと思っています。

(木島部会長)

実際に何を出すかということですが、以前は、どこかの団体がエコクッキングとかやりましたよね。

(金子課長)

区民会議なので、何かをやるといだけではなくても良いと思います。

(鷺頭委員)

自然エネルギーが話題になっているが、火力発電と比べると何百分の一、原子力発電と比べたら何万分の一です。自然エネルギーを普及させるのは、もちろん良いことだが、それと併せて節電も推進しなくてはなりません。みなさんが節電する気持ちがあれば自然エネルギーも可能だが、不便になることを覚悟してもらえれば良いと思います。

(木島部会長)

節電を数字で見られれば良いのではないかと思う。数字でPRしてあげるということも一つの手でだと思えます。あと、先日打ち水をしましたが、それで何度下がったかを示されたのでわかりやすかったと思います。そういうのをパネルにまちとめて出したらどうでしょうか。

パネルか何かをつくって説明したらどうでしょうか。

(事務局)

スペースですが、机1脚分くらいです。あと、区民会議としてどういうことをPRするかという視点で考えていただきたいと思えます。たとえば区の花木の選定とか。節電などは、他の環境団体がやると思えます。

(鷺頭委員)

では、そこで区の花・木のアンケートをとってみてはどうでしょうか。

(金子課長)

それは、選定委員会があるので難しいと思えます。

(木島部会長)

ポスターと花の選定のPRをするのが良いのではないのでしょうか。

(事務局)

スペースを利用するにあたり、パネルを展示するのか、チラシを配布するのか、アンケートを行うのかなどを決める必要があります。また、区民会議のスペースなので、環境だけで良いのかということです。

(金子課長)

今、中間報告で出した内容の報告というのであれば、他の部会にも関わるのでよろしいかと思えます。

(木島部会長)

チラシだけではインパクトが少ないですね。何かできれば。それでは区民会議としてどんなものを想定していますか。

(金子課長)

逆にそのあたりを環境部会から意見をいただければと思っています。とは言いつつ他の部会をまったく入れないわけにはいかないと思うのですが。

(木島部会長)

せっかくポスターの表彰式を行うので、それは入れたいですね。

(事務局)

教育文化会館は、中2階の入り口のパーテーションに貼ることができるということと、大ホールの入りのロビーにその他の環境関連の展示を行うようになると思います。

(木島部会長)

それならばチラシで良いかもしれませんね。

(金子課長)

では、チラシの方向で考えましょう。その他のアイデアがあれば後日メールなどでください。

(2) 次回の日程

(木島部会長)

次回はいつにしますか。

⇒次回は9月8日(木)に開催することが確認された。

以上